

## 事業者排出量削減報告書

(宛先) 京都府知事		2022年 7月 27日					
報告者の住所（法人にあっては、主たる事務所の所在地） 北海道札幌市東区苗穂町6丁目1番1号		報告者の氏名（法人にあっては、名称及び代表者名） 雪印メグミルク株式会社 代表取締役社長 佐藤 雅俊 電話 03-6887-3690					
主たる業種	処理牛乳・乳飲料製造業						
	細分類番号	0	9	1	3		
事業者の区分	<input checked="" type="checkbox"/> 第12条第1項第1号 <input type="checkbox"/> 第12条第1項第2号又は第3号 <input type="checkbox"/> 第12条第1項第4号						
計画期間	令和2年4月から令和5年3月まで						
基本方針	私たち雪印メグミルクグループは、自然の恵みから生まれるミルクを中心とした事業活動と地球環境の共生を目指します。そのために、「雪印メグミルクグループ 企業行動憲章」に基づき、「雪印メグミルクグループ 環境方針」をここに定め、持続可能な資源の有効利用に努めます。						
計画を推進するための体制	環境保全活動の最高責任者である社長をトップに、環境担当役員を環境統括責任者とする環境マネジメントシステムによって総合管理をしています。また、各部門には環境管理責任者をおくことで、全員参加型の環境マネジメントに取り組み、ISO14001：2015準拠した環境マネジメントシステムを推進しています。						
温室効果ガスの排出の量	温室効果ガスの排出の量	基準年度 (29～1)年度	第1年度 (2)年度	第2年度 (3)年度	第3年度 (4)年度	増減率	
	事業活動に伴う排出の量	20,557.0 トン	19,937.9 トン	19,325.9 トン		-4.5 パーセント	
	評価の対象となる排出の量	19,896.5 トン	19,937.9 トン	19,325.9 トン		-1.3 パーセント	
	実績に対する自己評価	生産量は前年比95.5%と生産量が減少するなか、温室効果ガス排出量は前年比97.1%と蒸気を使用している吸収式冷凍機をチラー冷凍機に更新するなどの取り組みによる効果もあるが生産量に比例し減少する結果となった。					
原単位当たりの温室効果ガス排出量等	事業の用に供する建築物の用途	原単位の指標	基準年度 (1)年度	第1年度 (2)年度	第2年度 (3)年度	第3年度 (4)年度	増減率
	工場	事業活動に伴う排出の量 (製造出来高KL×1/10)	1.12	1.16	1.18		4.47 パーセント
		事業活動に伴う排出の量 ( )					パーセント
		実績に対する自己評価	省エネ施策の効果、生産量の減少により温室効果ガスは減少したが生産量の減少に伴う原単位の悪化分まで温室効果ガス削減の効果がでず前年より悪化する結果となった。				
重点的に実施する取組の実施状況		基準年度 (1)年度	第1年度 (2)年度	第2年度 (3)年度	第3年度 (4)年度	備考	
		113.0 パーセント	118.0 パーセント	118.0 パーセント			
具体的な取組及び措置の内容	(2)年度	ボイラ空気比見直し、構内エア漏れ箇所修理、空調用チルド水の室温制御化による電力削減、チルド冷凍機冷却熱量による台数制御運転化による電力削減					
	(3)年度	老朽設備の吸収式冷凍機を高効率冷凍機更新による温室効果ガス削減。井戸ポンプのインバーター運転、充填室外調機の夜間省エネ運転、アイスバンクバルブ自動制御による電力削減					
	(4)年度						
通勤における自己の自動車等を使用することを控えさせるために実施した措置	措置の内容	特になし					
	上記の措置を実施した結果に対する自己評価	時差勤務があり自動車以外の勤務が困難である為					
森林の保全及び整備、再生可能エネルギーの利用その他の地球温暖化対策により削減した量	区分	第1年度 (2)年度	第2年度 (3)年度	第3年度 (4)年度	備考		
	森林の保全及び整備によるもの						
	地域産木材の利用によるもの						
	再生可能エネルギーを利用した電力又は熱の供給によるもの						
	グリーン電力証書等の購入によるもの						
	温室効果ガス排出量の削減又は吸収の量の購入によるもの						
合計	0.0 トン	0.0 トン	0.0 トン				
地球温暖化対策に資する社会貢献活動	京都府南丹保健所の「京都丹波スマート環境学習」に参加						
特記事項							

注 1 該当する口には、レ印を記入してください。特定事業者以外で自主参加される事業者の方は、レ印の記入は不要です。

2 「細分類番号」とは、統計法(平成19年法律第53号)第2条第9項に規定する統計基準である日本標準産業分類の細分類番号をいいます。

3 「基準年度」とは、計画期間の前年度又は計画期間の前の3年度の事業活動に伴う排出の量又は原単位の数値の平均をいいます。

4 「増減率」とは、基準年度と比較した計画期間の平均の増加又は減少の割合をいいます。

5 「重点的に実施する取組の実施状況」とは、温室効果ガスの排出の量を削減するために重点的に実施した取組の実施率を地球温暖化対策指針で定める方法により算出して記入し、その算出の根拠となる資料を添付してください。